

令和6年度 第10回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年1月27日（月）13時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・令和7年度に向けて環境省との調整を行っているなかで、色々と省エネの関係、再エネの関係の予算にも縛りがあり、全体の事業費を上手く活用するのに難しい点もある。環境省の言う事も分かるが、当村にとっては計画にある程度沿いながら、環境省としっかり調整をし令和7年度も順調に事業を推進してまいりたいと考えている。
- ・(株)いくさかてらすは取締役会を先日行い、いよいよ4月から電気の小売業が順調に開始できるように、村民の方が契約できる約款等もほぼ決まっているため、これから営業しながら村民の皆さんにも(株)いくさかてらすと契約をして頂くように進めていきたい。
- ・その他、EVシェアについてもある程度どのように行っていくか方針を立てており、また省エネエアコン等の補助についても、来年度から新設も補助金の対象にする検討を進め、環境省と調整をしてある程度了解を頂いているところであるが、何分課題は多いわけで、それをしっかり環境省と引き続き調整をしながら一つ一つクリアして、まずは令和7年度の予算立てをしていきたい。

【協議事項】

○EV カーシェアリングの運用について

- ・公用車 EV カーシェアリングの借り方、使い方、使った後の対応について、カーシェアする EV 公用車、カーシェアできる時、貸出から返却までの流れについて説明。
- ・使用した電気料の請求及び支払いについて、使用後の充電や保険の対応について質問があり、次回の会議までに調整してまた示すと説明。

○省エネ機器・木質バイオマスストーブ補助の令和7年度検討事項について

- ・令和7年度に予定している木質バイオマスストーブの導入補助、省エネ家電の補助内容について説明。
- ・新設エアコンの補助条件について質問があり、一般の機器よりもCO2削減効果があることの基準については、カタログでの省エネ達成率を目安に検討していると説明。
- ・令和7年度の補助金の上限設定について、省エネ家電はCO2削減を推進していきたいので今年度と同じとし、太陽集熱器、木質バイオマスストーブについては上限を設けいくように、次回までに内容を検討して示すよう意見があった。

○(株)いくさかてらす 電気小売事業に係る手続きの進捗状況等について

- ・取締役会議の内容説明と電気小売事業に係る手続き及びスケジュールについて説明があった。
- ・マイクログリッドの範囲内における蓄電池設置の目的と個所について質問があり、それぞれについて説明があった。

○その他

- ・PPA事業の進捗状況及び今後の設置予定、令和6年度の村発注事業進捗状況（やまなみ荘ボイラー・チップ庫新設工事、EV充電設備・EV充放電設備設置工事、ペレットストーブ設置工事）の内容について説明。
- ・EV車への充電時間帯の運用方針等について、充電はなるべく昼間の時間帯に行う方が良いと意見があった。